



c o n t e n t s

「北区の歴史はじめての一步」全7冊完成、こどもの読書週間……………(1面)
 あすか教室、放課後子どもプラン、朝ごはんレシピコンテスト……………(2面)
 英語が使える北区人、エコスクール、文化・スポーツ等優良児童生徒表彰……………(3面)
 学校自慢、歴史の宝箱、おいしい給食……………(4面)



町会・自治会では^{かいらん}回覧でお読みください

北区の歴史の入門書『北区の歴史はじめての一步』全7冊が完成しました

王子西地区と浮間地区が仲間入り

中央図書館では、未来を担う子どもたちに郷土の歴史を知ってもらおうと、平成22年から北区を7つの地区に分けて『北区の歴史はじめての一步』を作成してきました。

これまでに、赤羽東地区編、王子東地区編、滝野川東地区編、赤羽西地区編、滝野川西地区編を刊行し、このたび新たに「王子西地区編」と「浮間地区編」を加え、全7冊で北区全域を網羅しました。



たくさんの写真は区民の皆さんから掲載している写真や資料の多くは、区民の皆さんから寄せられたものです。古いものを大事にしてきた方々のご厚意を大切に、これらの貴重な地域資料を今後も保存・活用していきます。



大人が読んでもおもしろい

このシリーズは、読み物として楽しめる歴史の部分と、実際にその場所に行って確かめられる事典の部分からできています。

歴史の部分は、大人が読んでもおもしろい専門的な話を、図や写真などをたくさん載せて、子どもたちにも分かりやすく紹介しています。

事典の部分は、石碑などのある場所を地図と一緒に載せています。

ぜひ、この本をガイドに地域の探検をしてみてください。きっと新たな発見があるでしょう。

『北区の歴史はじめての一步』は、区立の小・中学校と該当地域の小学校3年生全員に配付しています。学校図書館で実際に読んでくれた、東十条小学校5年生の子どもたちからは、「戦争で、集団疎開とか、食べ物が不足していたことなどを知り、今が普通に生活できて幸せだと思った」、「昔の人がどんな武器で戦ったとか、狩りをしていたかがわかった」、「北区が、王子区と滝野川区が、合体して生まれたのをはじめて知った」、「歴史の年表で、日本のできごとと北区のできごとが比較できてよくわかった」などの感想をいただきました。



『北区の歴史はじめての一步』は区内図書館で閲覧・貸出するほか、1冊300円で販売しています。
 販売場所：中央・滝野川・赤羽の3図書館、飛鳥山博物館、区役所第一庁舎区政資料室

4月23日～5月12日は「こどもの読書週間」です



～子どもたちにもっと本を！との願いから～

「こどもの読書週間」は昭和34年に始まりました。もともとは5月5日のこどもの日を中心とした2週間でしたが、平成12年の「子ども読書年」をきっかけに4月23日(子ども読書の日)～5月12日になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知ることは、豊かな心を育むためにとても大切です。北区では、毎年「子ども読書の日」にちなみ、赤ちゃんから大人まで、おはなしの世界を自由に楽しめるイベント「子どもの本のつどい in Kitaku」を開催しています。

みんなでおいでよ！ 第10回子どもの本のつどい in Kitaku 2013

1日中おはなしに浸ることができる空間で、皆さんをお待ちしています。「赤ちゃんのためのおはなし会」、「幼児のためのおはなし会」、「小学生のためのおはなし会」のほか、かみしばい、工作など、楽しい内容が盛りだくさん！
 ※入場無料です。当日、直接会場にお越しください。

日時：4月21日(日)午前10時45分～午後3時
 場所：東十条区民センター1階・3階
 主催：中央図書館
 企画・運営：北区図書館活動区民の会



なかまとともに35年 北区あすか教室

「あすか教室」は、主に区立中学校の特別支援学級を卒業した方々が、より豊かな社会生活を送るために、学習と仲間作りを進める教室です。歴史は古く、昭和53年に当時の「手をつなぐ親の会」、特別支援学級担任会などの尽力によりスタートして以来35年、平成7年度から毎月参加者向けに発行している「あすか新聞」も、平成25年3月で245号を数えました。

プログラムとしては、音楽・ダンス・クラフト・工芸・パソコン・げき活動など希望する科目に分かれて行う継続学習、ボ

ウリング・バドミントン・ティーベース・バスケットボール・卓球・ビーチボールバレーなどのスポーツ、宿泊研修、教養講座、料理教室などがあります。また、毎年春に開かれる小中学校特別支援学級合同運動会のお手伝いなど、多彩な内容の活動を行っています。

「あすか教室」には現在約90名が参加。年14回開かれる教室には、いつも楽しい声が響いています。



毎号、仲間の声と写真がたくさん載っている紙面。やむを得ず休んだ時でも、教室のみんなの様子がわかります。



学校を卒業するとスポーツの機会も少なくなりがち。あすか教室の仲間と一緒になら、スポーツが上手な人も、苦手という人も、みんな楽しくスポーツができます。



那須の「北区しらかば荘」で行われた宿泊研修。感動的なキャンドルサービス、グループごとの出し物などで、絆を深めました。

●お問い合わせ● 生涯学習・スポーツ振興課 ☎3908-9323

放課後子どもプラン 新たに4校でスタート

～岩淵小学校・浮間小学校・西浮間小学校・滝野川第五小学校～

「放課後子どもプラン」は、地域社会の中で、放課後や週末などに子どもたちが安心して、健やかに育まれるよう「放課後子ども教室（小学校1～6年生を対象にした放課後等の安心安全な居場所）」と「学童クラブ」を連携して実施するものです。北区では平成24年度、東十条小学校を会場にモデル事業として実施してきました。今年度は新たに4校を会場に実施し、平成31年度までには全小学校に導入していく予定です。

放課後子どもプランは、放課後だけでなく、土曜日・夏休みなどの長期休業期間中も開催します。自由遊びのほか、集団遊び、さまざまな体験事業や季節行事、学習などのプログラムを用意しています。

対象となる児童は、原則として、当該小学校と学区内に居住する私立小学校等の1～6年生です。なお、利用にあたっては事前の登録が必要です。



室内でのゲーム(東十条放課後子どもプラン)



体育館でユニホック(東十条放課後子どもプラン)

●お問い合わせ● 学校地域連携担当課 ☎3908-9361

家族のために！自分でつくる朝ごはんレシピコンテスト



児童・生徒の皆さんにとって、遊びや運動、学習活動はとても重要です。活動に集中するために、また、元気に一日を過ごすために、しっかりと朝食をとることが大切です。そのためには、ギリギリに起きるのではなく早起きすること、早寝することが欠かせません。つまり、健康で充実した学校生活の第一歩は「早寝・早起き・朝ごはん」です。



最優秀賞「朝から力がたくさ
岩淵小学校4年
自分でつくる朝ごはん」
黒住 汐利 さん

いつも母が朝ごはんを作っているのですが、これからは早起きする習慣をつけて、自分で作った朝ごはんをみんなに食べてもらい喜んでもらいたいです。

そこで、教育委員会では、自分一人で簡単に作ることができ、主食、主菜、副菜の計3品を組み合わせた料理レシピを小学生の皆さんから募集しました。計43点の力作の中から最優秀賞と優秀賞に輝いた作品をご紹介します。

詳しくはホームページをご覧ください。



優秀賞「姉の3日朝食」
星美学園小学校5年
近藤 さゆり さん

私は料理をすることが大好きなので、いつも勉強を頑張っている姉のために、ビタミンたっぷり、バランスばつくん、ビューティフルな朝食を作ってみました。

●お問い合わせ● 生涯学習・スポーツ振興課 ☎3908-9323

英語が使える北区人の育成

小・中学校では、小学校から中学校への外国語教育の円滑な接続を図るとともに、児童・生徒が英語に触れる機会を積極的に増やすことで、コミュニケーション能力を高めています。

国際理解教育の充実により、英語による交流ができる子ども、英語が使える北区人の育成を目指しています。

英語が使える北区人の育成

- ・小学校1年生から6年生に、外国語活動を実施。(小学校1年生から4年生には、北区独自のカリキュラムにより年間20時間実施)
- ・小学校1年生から中学校3年生まで、ALT(外国語指導講師)を配置。
- ・外国語教育アドバイザーによる教員研修。
- ・中学校2年生が那須でイングリッシュ・サマーキャンプ(留学生との交流)に参加。
- ・北区立中学校と米国カリフォルニア州セブンヒルズスクールとの相互交流。

●お問い合わせ● 教育指導課 ☎3908-9287

北区立中学校生徒海外派遣報告会



派遣生徒一人ひとりが研修の成果を報告。今後の抱負について語りました。



質疑応答の場面では、日本との文化の違いについて答えました。

1月25日、北区立中学校生徒海外派遣報告会が行われました。当日は、派遣生徒からの報告、会場参加者との質疑応答やこれまでの派遣生からのスピーチもありました。北区で育った子どもたちは、国際社会で活躍する素地を着実に身に付けています。



平成14年度の派遣生徒が、現在、堀船中学校の英語教諭として活躍しています。

緑のカーテンでエコに参加しよう!

環境と調和した学校施設とするため、「エコスクール整備事業」として、一部の小学校(平成25年度は18校)で緑のカーテン(壁面緑化)に取り組み、環境教育・学習に活用しています。

葉が茂り日差しを遮るだけでなく、葉などから放出される水蒸気による気化熱で、校舎壁面温度の上昇を抑えることにより、室温を下げる効果があります。緑のカーテンは、家庭等でも取り組むと省エネの効果があり、取り組む建物が増えると地域の暑さを和らげてくれます。夏に向けて今から取り組まれてはいかがでしょうか。



4~5月頃に、プランターやネットを設置し、つるが伸びるツル性植物の苗を植えます。



児童が植物(ヘチマやゴーヤ、アサガオ、キュウリ、インゲンなど)の育つ過程を観察し、大きさや色などを記録します。



7~8月には3階まで、つるや葉が伸び、日陰をつくれます。



植物が実をつける仕組みを学び収穫します。収穫した実は、給食等でおいしくいただきます。



●お問い合わせ● 学校改築施設管理課 ☎3908-9268

輝く未来へ!

北区文化・スポーツ等優良児童生徒表彰

教育委員会では、文化・スポーツなどさまざまな分野で優秀な成績を収めた児童・生徒・団体、もしくは他の模範となるような児童・生徒・団体を毎年表彰しています。



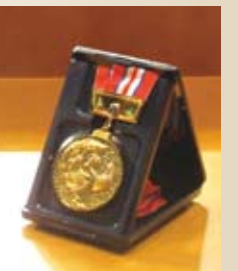
平成24年度は3月5日に北とびあつじホールで表彰式を行いました。

式では、写生、作文、作曲、陸上、水泳、卓球、柔道、相撲、レスリング、フェンシングなど、それぞれの分野で優秀な成績を収めた児童・生徒に記念のメダルが贈られ、団体には楯が贈られました。



受賞者を代表して中学校3年生と小学校5年生から、これからも、応援してくれる周りの方々や親に感謝することを忘れずに、困難に負けないで、日頃の努力の成果を発揮できるように頑張っていきたいとの感謝と決意表明の言葉がありました。

今後の皆さんのますますの活躍を期待しています!



●お問い合わせ● 教育政策課 ☎3908-9279

協働活動①「技科(わざか)」活動

地域の名人が、子どもたちに直接、伝統の「技」を伝授する活動です。人間国宝の奥山峰石先生からは、5年生が鍛金の「技」と「生き方」を教えてくださいました。「技科」にはこのほかに、茶道・和菓子作り・陶芸・箏・ちぎり絵など多彩な活動があります。



協働活動②放課後子ども教室「すくすく」

子どもたちに、放課後の安全で安心な居場所を提供するため、地域の人々が実行委員会を組織し、平日に、放課後子ども教室を開設しています。自由遊びや自由学習、将棋教室や卓球教室があり、子どもたちが楽しく過ごしています。このほか、学校運営協議会が主導する協働活動には、PTA西小まつり、図書館ボランティアなどがあります。



たてわり班給食・遊び

学校の南側にあった東京外国語大学の跡地に、平成22年、西ヶ原みんなの公園ができました。本校では、この広々とした公園を使って、たてわり班給食・遊びを実施しています。お弁当給食を食べ、みんなで仲良く遊びます。気分はピクニックです。



西ヶ原4-19-21 ☎3910-5204

子どもを育て、大人も学ぶ、 地域コミュニティの核となる学校



西ヶ原小学校は、平成19年度から、北区唯一のコミュニティ・スクールに指定され、「共生・共有・協働」を合い言葉に、学校・保護者・地域の三者が連携した学校づくりを進めています。

三者の代表で構成された学校運営協議会では、学校運営の方向や予算、人事などについて協議します。また、子育てのための協働活動について情報交換や調整を行います。

和太鼓クラブ・金管バンド

和太鼓クラブと金管バンドは、校内の行事で演奏するだけでなく、毎年10月に行われる区民まつりで演奏を披露しています。このほか、児童館のお祭りにも参加しています。なお、和太鼓クラブは、文化・伝統の継承に貢献してきた実績が認められ、平成25年2月10日に東京都教育委員会から表彰されました。



キッズパーティ

秋には、外国語活動の行事としてキッズパーティを行います。みんなが思い思いの仮装をして集まり、ALTの先生から、母国のハロウィンの話を聞き、ゲームを楽しみます。

もちつき集会

12月にはPTAや真友会(父親の会)、地域の方々の協力の下、もちつき集会が行われました。和太鼓クラブの威勢のいい太鼓の響きとともに始まりました。子どもたちは日本の伝統を肌で感じながら美味しいお餅を食べました。



歴史の宝箱

第12弾

骨が語る縄文人の悩み

飛鳥山博物館の常設展示室には、西ヶ原貝塚から見つかった縄文人の骨が展示されています。随分と骨太なので、おそらくはかなりたくましい体つきをした人物だったのでしょう。この人は身長160cmほど、40歳前後の

男の人とみられています。

ちなみに人骨からはほかに当時の人々の姿を垣間見ることができます。北区内の遺跡からは見つかりませんが、全国で見つかる縄文人骨のなかには、骨自体はしっかり残っているのに、歯だけがぼろぼろになってしまっているものがあります。そう！私たち現代人を悩ませる「虫歯」に、縄文人たちもなっていたのです。チョコレートやアメ、ケーキなどの甘いお菓子が無い時代なのに、どうして虫歯になってしまうのでしょうか。

もちろん、しっかりと歯を磨けていなかったということもあるでしょう。しかし、どうやらその原因は当時の食生活にもあるようです。縄文人の食糧の中心は、クリ、クルミ、ドングリ類などの木の実でした。木の実ではでんぷんなどの糖質を多く含む食材ですが、この糖質、実は口の中の細菌によって、歯を溶かす酸

へと変わる厄介なものなのです。なかには歯の根っこの方まで、虫歯になってしまっている人もいたようです。随分と歯の痛みには悩まされたことでしょう。いつまでも健康で生活するためには、やはり毎日の歯磨きが大切ということではないでしょうか。



飛鳥山博物館に展示されている縄文人骨

●お問い合わせ● 飛鳥山博物館 ☎3916-1133

作ってみませんか?

第22回

おいしい給食



今回は、西浮間小学校の給食メニュー「手作りコロッケ」を紹介します。

西浮間小のコロッケには、チーズ、大豆、白花豆、たまご、カレー、おからなどを使ったものもありますが、紹介するのは皆さんになじみの深いじゃがいものコロッケです。ソースはかけずにいただきます。子どもたちが残さず食べてくれる「完食メニュー」のひとつです。

作り方

- ①じゃがいもは皮をむき、蒸して柔らかくになったらつぶす。
- ②にんじん、たまねぎは皮をむき、粗みじん切りにする。
- ③油で炒めた挽肉、野菜と、じゃがいも、調味料を混ぜ合わせる。
- ④5等分して小判型にし、小麦粉、溶き卵、パン粉の順に衣をつけ、油で揚げる。
(熱いうちに揚げると破裂するので、冷めてから揚げる。)



材料(5人分)

- じゃがいも……………250g
- たまねぎ……………100g
- にんじん……………25g
- 豚挽肉……………50g
- 牛乳……………50g
- サラダチーズ(小角切り)…35g
- バター……………5g
- 塩……………2.5g
- こしょう……………少々
- 炒め油……………少々
- 小麦粉……………30g
- たまご……………20g
- 水……………20g
- パン粉……………40g
- 揚げ油……………適量